

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第330号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2014年3月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

卒業おめでとう!!

高校・中等部第3学年 総代・各賞受賞者決まる

高校

東海大学総長賞

7組 大谷 優斗

森村学園中等部出身



卒業生総代

9組 岩崎 俊哉

東海大学附属
高輪台高等学校中等部出身



東海大学生徒会功労賞

9組 高祖 正成

東海大学附属第四高等学校中等部出身



優等賞

9組 有田 達也

東海大学附属高輪台高等学校中等部出身



3力年皆勤賞(代表)

6組 伊藤 将希

板橋区立高島第三中学校出身



中等部

東海大学総長賞

B組 熊井 健将

川崎市立子母口小学校出身



卒業生総代

A組 渡邊 柚里菜

横浜市立吉原小学校出身



東海大学生徒会功労賞

B組 大箭 望

川崎市立日吉小学校出身



優等賞

A組 富永 悠記子

品川区立立会小学校出身



3力年皆勤賞(代表)

A組 掛川 慶大

佐久市立岩村田小学校出身



2013年度 中・高卒業生各賞受賞生徒

表紙に掲載しました東海大学総長賞、卒業生総代、東海大学生徒会功労賞、優等賞、3カ年皆勤賞代表の各賞受賞者を卒業証書授与式当日に表彰します。また、卒業証書授与式前々日の「3年生を送る会」で以下の22名の日頃の努力に対して表彰しました。

高 校

東海大学奨学生



4組 渡部一輝
東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

東海大学特別奨励推薦(代表)



3組 佐藤真帆
台東区立上野中学校出身

3カ年精勤賞(代表)



4組 鈴木涼平
世田谷区立站南中学校出身

1カ年皆勤賞(代表)



4組 潮田政樹
品川区立鈴ヶ森中学校出身

1カ年精勤賞(代表)



3組 町井俊弥
大田区立大森第一中学校出身

東京都知事賞



7組 金田 翼
横浜市立榑町中学校出身

日本私立中学高等学校連合会賞



4組 日高由里加
横浜市立日吉台西中学校出身

東京都私学財団奨励賞



9組 鈴木詩乃
葛飾区立水元中学校出身

東京都体育協会優良生徒



3組 村山航大
東海大学付属高輪台高等学校中等部出身



6組 梅澤昭乃
台東区立忍岡中学校出身

東京都高等学校文化活動優良賞



2組 村木 凌
足立区立第十四中学校出身



5組 渡邊理沙
川崎市立中野島中学校出身

東京都高等学校体育連盟柔道賞



5組 土淵優人
江東区立第三亀戸中学校出身



5組 豊崎倫人
東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

東京都高等学校野球連盟賞



1組 平尾 優
港区立三田中学校出身

東京都高等学校軽音楽部連盟賞



8組 關 遥夏
東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

東京都高等学校ソフトテニス部連盟賞



3組 潤 政希
川崎市立玉川中学校出身

中 等 部

3カ年精勤賞(代表)



B組 小林 俊
杉並区立杉並第八小学校出身

1カ年皆勤賞(代表)



A組 西垣祐汰
杉並区立堀之内小学校出身

1カ年精勤賞(代表)



A組 高橋彩嘉
渋谷区立代々木小学校出身

私立中学高等学校連合会賞



A組 北川沙季
港区立白金小学校出身

東京都体育協会優良生徒



A組 北川沙季
港区立白金小学校出身



B組 星 佑樹
文京区立林町小学校出身

※その他の各賞受賞者は「卒業証書授与式」冊子をご参照ください。

卒業する皆さんへ

贈る言葉



木内 信之介

生徒会長 2年4組
東海大学付属高輪台高等学校 中等部出身

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。先輩方のお陰で私たち下級生はたくさんのご経験を学ぶことができました。本当にありがとうございました。また、中等部生の皆さんはほとんどの生徒が高輪台高校に進学すると聞いています。高校で皆さんとお会

いできる日を楽しみにしています。

私は中等部にいる時から先輩方にはお世話になっていました。部活動や学校行事、普段の生活から一生懸命に物事に取り組む姿勢や、熱心にリーダーシップを発揮する後ろ姿を見て、憧れを感じていました。また、私たちが悩んでいるとき、つまづいているとき、真っ先に声をかけてくださいました。時には厳しく、時には優しい先輩方と一緒に過ごした期間は短いのですが、いろいろなことを学ばせていただきました。

先輩方、中等部3年生はこれから卒業し、それぞれの夢に向かって進んでいかれると思います。その中で忘れてほしくないことがあります。それは、高輪台高校・中等部で過ごし、学んだ「思想」「体魄」「知能」この3つを培ってきた3年間は必ず将来、自分たちの「武器」になるはず。さらなる飛躍とご健康を心からお祈りします。

経験を生かして



大谷 謙太

後援会会長

卒業生の皆さん、保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。

未曾有の震災直後に入学された皆さんは不安を感じながらの高輪台生活のスタートだったことと思います。そのような中で多くの経験を重

ねた皆さんの3年間の学校生活を、卒業という節目にあたりぜひ振り返ってみてください。

勉学や部活動を精一杯満喫した充実感・達成感ばかりではなく、失敗や思うように過ごせなかったという後悔もあるかもしれません。どちらの思いも、これから将来に向かい新しいステップに進まれる皆さんにとっては、生かすことのできる貴重な経験だと思います。この3年間の生活を無駄にしないためにも節目であるこの時期に、これまでをきちんと振り返り着実に次へつないでいただきたいと思います。そして深みのある、魅力的で素晴らしい大人へと成長してください。

皆さんのこれからのご活躍を期待し、心から応援しています。ご卒業おめでとうございます！

得意技を磨け!



竹中 輝夫

部活動後援会会長

卒業する皆さん、おめでとうございます。この飛躍の原稿も後援会長時代から数えると11回目になります。改めて過去の原稿を振り返ると、言葉を変えながらも私は、毎年同じメッセージを皆さんに送っているようです。

それは就職のことです。「これから高校、大学に入るのに、もう就職?」と思われるかもしれませんが、希望する職業に将来就く準備を、高校、大学時代からしてほしいというお願いです。具体的には、自分の『得意技』を磨いてほしいのです。

最初に中等部を卒業する皆さんは、スポーツでも趣味でも、とにかく得意な分野を見つけそれを磨いてください。そうすることで自然と自分のやりたい方向が、見えてくると思います。

次に高校を卒業する皆さん、皆さんはより具体的に、自分の『得意技』を生かせる職種は何か、あるいはその職種が求めている『得意技』は何かを、大学生活最初の1年間、じっくり考え磨いてください。就職はまだ先のことと思っていると厳しい現実にあぶつかりますよ。

大学、高校とそれぞれの新生活。もう一度言いますよ。「得意技を磨け!」。

同窓会活動に主体的に参加を!



大塚 昭

高輪会会長

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

高校生活3年間の間に皆さんは良き恩師、友に巡り合えたのではないのでしょうか。そして高校生活で学ん

だ多くの知識・経験は皆さんにとって宝物であり、今は気が付かなくても時が経つにつれ大きくなっていくものです。今までは先生方や保護者の方に保護されてきた訳ですが、これからは、国内だけでなく世界中の人たちと一緒に学んだり仕事をする新しい生活が始まります。

本校で学んだ貴重な経験に自信を持ち、自らの行動に自覚と責任を持って進んでほしいと思います。そして自分の将来を見据えて着実に一歩ずつ歩まれんことを期待しています。皆さんは、それぞれ進む道は異なっていますが、同じ校舎で学び卒業した同窓生は皆さんの応援団です。ぜひ、同窓会活動に主体的に参加して同窓生同士の絆を深め支え合って、豊かな人生を築こうではありませんか。

2013年度学校運営方針

積極的なSSH活動の取り組み

文部科学省から2004年度に指定を受けたSSH活動も年々充実してきています。今年度は、研究開発課題Ⅰとして「国際性を重視したプログラムの改善」、「国際的な科学技術コンテストへの参加」、また研究開発課題Ⅱとして「地域に広げる科学普及活動の展開」、「企業連携によるキャリア教育の推進」を掲げ、取り組んでいます。具体的には、①基礎力・問題発見力・問題解決力の育成、②倫理観・判断力の育成、③英語プレゼンテーション力・国際性の育成、④科学普及活動、⑤キャリア教育を推し進めていきます。

中等部・高等学校・大学10年間の一貫教育の充実

- ・10年間のうち、本校では中等部から高等学校までの6年間を通しての学習面・生活面・部活動面などを、教職員が一丸となって指導していきます。
- ・各分掌(教務部・生徒指導部・進路指導部・研究部など)や教科が互いに協力し合い、内容を常に確認しながら、教育活動を推し進めていきます。
- ・現在、中等部では3年時に全員がニュージーランドの語学研修旅行、また高等学校では希望者に対してハワイ研修旅行が用意されています。国際性を目指し、中等部や高等学校の英語教育に力を入れています。
- ・高等学校と大学のつながりをスムーズにするため、大学の先生方による学部別説明会や特別講座(高校3年後期後半実施)、大学入学前教育などを行っています。

2013年度 第65回高校・中等部卒業記念品紹介

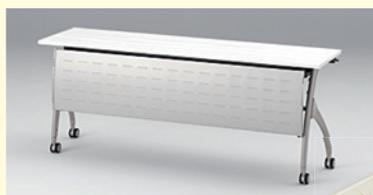
記念品 シューズボックス(高等学校第1学年及び中等部全学年)

今年度の卒業記念品として、シューズロッカーを贈呈していただきました。

1998年の設置以来多くの卒業生が使用しましたシューズボックスは、最近傷みが目立ち、生徒たちに不自由をかけることもありました。これから3年かけて、すべてを新しいものに変えていきたいと考えております。この卒業記念品を、感謝しながら大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



建学祭の「バザーおよびけやき屋食堂」(後援会)の収益金で「黑板消しクリーナー、トライダックⅡ(小型調光器)、テーブル(会議室用)」を購入



テーブル



黑板消しクリーナー



トライダックⅡ

2013年度第49回建学祭は天候に恵まれ、たくさんのお客様と催し物で賑わい、さらに、後援会から「バザーおよびけやき屋食堂」での収益金約120万円を、寄付していただきました。今年度はこの収益金で「黑板消しクリーナー、トライダックⅡ(小型調光器)、テーブル(会議室用)」を購入しました。保護者の方々のご協力により年々教育環境が整ってきております。この場をお借りし御礼申し上げます。

なお、今年度も収益金のうち1割を「私学ボランティア基金」へ寄付させていただきました。

東海大学進学相談会開催

2014年1月11日(土)に、本校において高校2年生対象の東海大学進学相談会が開催されました。31名もの大学の先生方に講師としてご来校いただき、進路の最終決定に向けての説明会や、個別質問に対応していただく等、貴重な時間を過ごすことができました。保護者の方にも300名近くご参加いただきました。今後の進路決定に大いに役立てていただき、高校3年生の6月に1人でも多くの生徒が希望学科の推薦候補者となれるように期待しています。

進学相談会を終えて

田中 友梨

2年6組 港区立高松中学校出身

第一志望の学科はいつ頃に決めましたか? というアンケートに対して高校2年生の後期と答える学生が多い中、今回の進学相談会は進路決定につながる最後の説明会でした。みんなそれぞれ希望する学部・学科を2つ選択して、教授や学部長の方の説明を聞きました。

生徒より

学部説明の中では、カリキュラムやシステムなどの細かい説明があり、大学生活を身近に感じることができました。私自身、進みたい方向や目標が少し見えてきたように思います。良い環境で学び、充実した大学生活を送るためにも、今自分がすべきである基礎学力の向上に向けて頑張りたいと思います。

大学の先生より

高輪台高校 進学相談会に参加して

山本 康治

短期大学部児童教育学科教授

参加した生徒の皆さんは自分の進路を決める大切な機会だということで、積極的かつ真摯な姿勢で話を聞いてくれました。短期大学部(静岡)の2学科(食物栄養学科、児童教育学科)は、類似学科が学園内にもないこともあり、本学でなければ首都圏の他大学を選択せざるを得ません。そのため教育の質、つまり内外から高く評

価されている教育内容とその成果としての卒業生の進路(就職・編入学)を中心にしっかりと伝えさせていただきました。とは言え、実際には親元を離れての不安が大きいかと思います。下宿や生活環境についても、当該キャンパスの教員として実際のところを十分お伝えすることができたと思います。このような機会は、高校生や保護者の方々の進路選択にはもちろん、大学・短大側にとっても、高校生の進路に対する疑問や不安に直接答えられるという点で大切なものだと思います。入学後のミスマッチは避けなければなりません。そのような意味でも、これからもぜひこのような機会を設けていただければと思います。

ハワイ・カナダ中期留学 留学生体験記

1月初めから約2か月間、高校3年生を対象にしたハワイ東海インターナショナルカレッジ中期留学(SHIP)に5名、バンクーバーでホームステイをしながら語学学校とハイスクールで学ぶカナダ中期留学に6名の生徒が参加しています。その中間レポートをご紹介します。

ハワイ中期留学(SHIP)

加藤 亜衣

3年6組 文京区立第九中学校出身

私は、文法だけでなく自分の意見を英語で言えるようになるため、またHTICでの生活に少しでも慣れるためにこのSHIPプログラムに参加しました。SHIPでの授業は英語で行われ、フィールドトリップなどいろいろなところでたくさんの初めての体験をすることができました。初めの頃は日本との生活の違いに戸惑うこともありましたが、慣れてしまえば毎日がとても充実しています。また、HTICの学生との交流や現地の高校への訪問、街での調査などさまざまな文化に触れることができるので、今まで知らなかったたくさんを知ることができ

ました。さらに、毎日の学習習慣がついたことが良かった点だと思っています。多くの宿題が出されるときも、毎日SHIPの仲間と教え合いながら取り組むのでそれほど苦ではありません。私たちのスローガンは"WE ARE FAMILY"です。その言葉にもあるようにたくさんの付属校の仲間も作る事ができました。私を含めてみんながSHIPに参加して良かったと思っています。なので、少しでも英語を学びたいと思っていて、英語が好きならばSHIPプログラムはとても良い機会だと思います。



カナダ中期留学途中経過報告

浅見 奈那

3年9組 横浜市立大綱中学校出身

私たち6人は1月3日からカナダのバンクーバーにいます。私にとってはオーストラリアの研修旅行以来、2度目の海外旅行です。ここでは霧で視界が悪いこともありますが、空気がとてもきれいで過ごしやすいです。私はホストファミリーと暮らしています。1月はブラジルから来た17歳のルームメイトとも過ごし、ブラジルの文化や環境について教えてもらいました。先日は私の誕生日で、ホストマザーが誕生日会を開いてくれました。手作りのケーキなどを用意していただき、とてもうれしかったです。また、車で海岸などさまざまな場所に連れていってもらいました。

バンクーバーへ来て驚いたことは、新聞を無料で配布していることです。私は毎日駅前前で新聞をもらい、シーバスの中で読みながら語学

学校へ通っています。学校ではブラジルやメキシコ、韓国などさまざまな国の生徒と一緒に英語の授業を受けています。英語で思うようにコミュニケーションがとれず、授業についていけないこともありましたが、今はクラスメイトと音楽などの趣味を話せてとても楽しいです。放課後はアイスホッケーの試合、ショッピングモールやコーヒーショップへ行き、休日はウィスラーのスキー場やキャピラノサスペンションブリッジでハイキングをしました。今後はアメリカのシアトルへ行く予定です。最後の2週間は現地のサザランド高校で授業を受けます。どのような授業なのかとても楽しみです。

これからもさまざまな人と英語で話しながら、高校生活最後の貴重な時間を大切にしたいです。



中等部1学年だより

1月22日、中等部1年生はTokyo Sightseeing Tourに参加しました。ネイティブスピーカーの先生と一緒に浅草、東京スカイツリー、上野動物園など東京の観光地を巡りました。終日、英語によるコミュニケーションをする中で、一歩“国際人”に近づいた生徒たちの感想を紹介します。

浅草での思い出

山本 恭平

1年A組 文京区立昭和小学校出身

僕は1月22日にネイティブの先生と一緒に東京観光に行きました。最初はなかなかコミュニケーションがとれず、友人に頼りっぱなしでしたが、どんどん話せるようになりました。

とくに思い出になったのは浅草に行ったことです。歩きながら物を探すゲームをしたとき、クリス先生からよくわからない質問がきて頑張って答えたら、「Thank you!」と言われてうれしかったです。途中でアクシデントが起こりましたが、なんとか説明をするところまでできました。お賽銭は「Coin is throwing」という説明で伝わってうれしかったです。それにクリス先生からわからない単語を教えてもらったりすることができました。

僕が思ったことは、たとえ人種や言語が違ってコミュニケーションがとりづらくても、心を込めて接すればどんなことも伝わるのだと思いました。

東京サイトシーイングツアーと正月

金田 拓馬

1年B組 港区立高輪台小学校出身

今回のツアーで最初に浅草寺に行きました。毎年行っていますが、クラスの皆と行くと、また違った感じでした。外国人のひと正月に浅草に行ったことがあったので、今回は、外国人の先生を上手に案内することができました。

正月に行った時には店が並んでいる所は混んでいたけれど、今回のツアーでは意外とすいていたので、少しだけど一軒ごとにお店が見られました。

それと、ツアーの紙の中にある写真の物を探していた時に、ネイティブの先生が人形焼きを知らなかったことには驚きました。

浅草寺周辺を見て感じましたが、けっこうお土産屋などに英語の看板が使われていて、やはり日本に来る外国人も多いのだと思い、同時にもっと英語を学習しなければならないと感じました。



浅草寺の前でネイティブの先生たちと



グループで町を散策中



お賽銭を終えての一幕



上野動物園にて。視線の先には…?

中等部2学年だより

2014年の目標は? ~最高学年として~

年が明けて間もない1月9日(木)に、今年度3回目の学年集会が開催されました。オープニングはいつものように学年主任の講話でした。「2014年を自分の将来を真剣に考える年にしよう」、「将来、進路が決まった時に、『よーし、もっと頑張るぞ』と思えるような進路を選んでほしい」ということを伝えたかったのですが、生徒諸君のところに届いたでしょうか?

集会の後半では、「私の2014年の目標」と題して全員が今年の目標を考えました。新年ということもあり、川柳風に5・7・5の17文字にその思いを込めてもらいましたが、初めての川柳に生徒たちは悪戦苦闘していました。ここでは、数々の名作(迷作?)の中から、格調高い作品をいくつかご紹介します。

A組 優秀作品

夢語り 口だけでなく 行動で 2年A組 稗田 裕樹

【解説】試験前に「今回はいける!」と言っていましたが、結果はあまり良くありませんでした。確信のないことを述べるような時間の無駄をするのではなく、実際の行動(勉強)で示していきたいと思います。

スラスラと 話してみたいな ^{イングリッシュ} in 英語 2年A組 青柳 和子

【解説】イングリッシュサマーキャンプで外国人と話すことができたのがとても楽しかったので、もっとスラスラと話してみたいと思いました。そのためにも、英語を頑張って勉強していきます。

今年こそ トップでゴール 全国へ 2年A組 寺久保 宇飛

【解説】陸上競技部で中・長距離を走っていますが、これまで一度も組内で1位や上位大会に行ったことがなく、悔しい思いをしています。今年こそは大きな舞台に立ち、戦いたいと思います。

B組 優秀作品

勉強と 部活に挑戦 目標へ 2年B組 田代 勇太郎

【解説】勉強は苦手な英語に挑戦して何とか克服できるようにしていきたいと思います。部活動は自分の種目の砲丸投げで12メートルを目標にして、関東大会を目指して努力していきたいです。

勉強し 目指せ大学 山登り 2年B組 河西 俊輔

【解説】箱根駅伝往路最終区の山、箱根の山を登るように勉強して大学という目標に向かって進んでいくという思いを込めてつくりました。この川柳を目標にして大学へと進学したいと思います。

テスト前 三日前から 焦らない 2年B組 西田 千裕

【解説】2013年のテストはテスト本番3日前になり、焦ってしまうことが多かったです。2014年ではテスト一週間前からの期間、部活動が休みの日を有効に使って、どの教科ももっとしっかり勉強します。そして良い点をとりたいです。

私の二〇一四年の目標 (川柳編)

二年組 氏名

中等部3学年だより

推薦入試を終えて

生徒たちは推薦入試を終えて、高校生活に向けての目標を書きました。将来の夢についてしっかりと考えている生徒たちもいました。彼らにとって高校生活が有意義なものになることを願っています。

北川 沙季

3年A組 港区立白金小学校出身

私は、高輪台高校に入学するにあたって、部活動・学習共に両立させ、人との関わりを大切にできるようになりたいと思います。

片方だけを重視してしまうと、本校で言われている文武両道を成すことができません。そのため、時間の使い方をしっかりと考えて、学習も部活動にも力を入れられるようにしたいと思います。

また、本校では英語を学ぶ環境が充実しているため、積極的に留学などのプログラムに参加をし、3年間、多くの場面で英語に触れたいです。将来、翻訳や通訳といった外国の言語や文化に携わる仕事に就きたいと思っているので、海外に行つて自分で現地の暮らしを体験できる留学プログラムは、とても魅力のあるものだと思います。そして、外国に滞在すると、他国からの留学生とも触れ合うことができます。私は、コミュニケーションをとるのが少し苦手ですが、共通の英語を使い、多くの人と関わることで、英語や文化を学ぶだけでなく、人とのつながりも増えると思います。

だから私は、本校の生徒として学び、人とのつながりを大切にするようにしたいと思います。

成田 理南

3年B組 葛飾区立柴又小学校出身

高輪台高校に入学するにあたり、やりたいことは、文武両道です。私は、中等部で吹奏楽部に所属しており、さまざまな大会での受賞や、仲間たちと1つ1つの練習を頑張っていました。その中で私は、仲間たちと練習して得たものの大きさや、仲間に支えられているものの大きさを改めて感じることができました。

私は、この中等部の体験から高校に入学しても、吹奏楽部に入り、中等部では体験できなかったような大きな舞台で、もっと多くの仲間たちと大きなものを得て、支え合いたいと思いました。

そして、学習面では、大学進学も視野に入れ、教科や科目が増えても、この学校の先生たちを信じ、自ら学び、わからないところは聞きに行くようにして、頑張りたいと思いました。

西垣 祐汰

3年A組 杉並区立堀之内小学校出身

私は、高輪台高校に入学したら、SSHに入り、他のクラスではできないような体験をしたいと思っています。

まず1つ目の目標は、自分の好きな理科についてです。私は、中等部の授業で身の回りの不思議な現象について実験をするのが楽しく、とても興味深いものがたくさんありました。そのため、SSHに入って新しく興味を持てるものを探したいと思います。また、今、私が興味を持っている超電導についても実験をして、私の好きなリニアモーターについても研究したいです。

もう1つは、自分の苦手な数学についてです。私は、5教科の中でもとくに数学が苦手で、定期テストなどでも低い点数でした。しかし、SSHでは理系の先生と接する機会も多く、他と比べて授業時間も多いです。そのため、わからなかった部分などを周囲の先生や友達に聞いたりして克服したいと思います。

高校では、以上のことを目標として、自分の時間を作りつつ、勉強にも集中し、頑張りたいと思います。

小島 大河

3年B組 横浜市立新吉田第二小学校出身

私は高輪台高校に入学し、努力したいことは2つあります。

1つ目は学習面についてです。私は、文系の科目は苦手です。特に国語は得意な科目より20点ほど点数が低いので、バランス良く点数を取ることができると、わからないことは質問し、自主的に行動することで行動を速くしたいです。また、自分の行動に責任を持てるようになることで、苦手な部分を克服していこうと思います。

2つ目は部活動についてです。部活動は卓球部に所属しようと思います。なぜなら、高輪台高校は関東大会の出場経験もあり、東京選手権に出場し、今年度も東京都ベスト8位に入るなど、とても良い成績があるからです。私自身もレギュラーメンバーに入れるように努力し、チームで関東大会を目指していきたいです。

そのため、自分の行動に責任を持ち、高校生である自覚を持っていきたいです。

高校1学年だより

高校1年生のスポーツ大会が1月18日(土)に本校アリーナで行われました。本年度最後の学年行事だったこともあり、各クラスとも大いに盛り上がり、クラスの団結を深めることができました。

優勝

堀田 祐樹

3組 藤沢市立六会中学校出身

1年生最後のスポーツ大会を終えて、3組の一員としてクラスの仲間がお互いに協力し、一致団結して臨んだ結果、総合優勝という1番の結果を残すことができたととてもうれしかったです。

私はドッジボールと綱引きに出ましたが、特に綱引きでは前回圧倒的な力を見せつけられて負けてしまった9組に、リベンジすることができたので最高の思い出になりました。スポーツ大会は、男女を問わずクラスの親交を深め、また日頃のチームワークを発揮する良い機会だと思うので、2年生になっても積極的に参加していきたいです。

2回のスポーツ大会を通して私は積極的に参加することの大切さと、皆で楽しむことの重要性を知りました。これは何事にも共通する大切なことだと思います。これからの学校生活で、今回学んだ貴重な経験を生かして、3組でいられる残り少ない時間を大切にしていきたいです。

準優勝

佐々木 三奈

4組 横浜市立富岡中学校出身

1年4組として最後の行事で準優勝という結果が残せてとてもうれしいです。今回のスポーツ大会では、前回よりクラスの仲も良くなり団結することができました。4組は特別スポーツができる人や運動部員が多いわけではありません。しかし、準優勝という結果を残せたのは、スポーツが得意でない人も全力で参加している姿を見て、4組の仲間たちが鼓舞され、より良いパフォーマンスができたからです。私は今回のスポーツ大会で、4組の団結力とスポーツの楽しさを改めて感じることができました。残り少ない4組での時間を大切に過ごしていきたいと思います。

3位

白石 由志

5組 品川区立浜川中学校出身

今回、5組は総合で3位でした。前は総合優勝だったので悔しい気持ちもありますが、クラスの仲間が全力を出し切り、楽しくて満足できる内容だったので後悔はありません。どのクラスも今回のスポーツ大会では、クラスの団結力が深まって応援も素晴らしいものでした。今のクラスで過ごす時間も少なくなってきましたので、そのわずかな時間を大切にしていきたいです。2年生になってからのスポーツ大会も、この学年全員で楽しみたいです。



高校2学年だより

学年集会③

1月9日のホームルーム活動は1年ぶりの学年集会でした。今回のテーマは「プロを定義する」。ゲストとして、静岡県舞台芸術センター所属の俳優・布施安寿香(ふせあすか)氏をお招きし、「サーカス物語」(ミヒヤエル・エンデ作、矢川澄子訳)の一節を演じていただいた後に、プロの役者としての心構えなどをうかがいました。プロ=お金をもらって活動する人と定義した生徒たちにとっては、将来の職業について思いを巡らせる一つの契機となったようです。



スポットライトを浴びる布施氏

トークショーの様子

「見えない縄」で大縄跳び!

あなたは「アマチュア」「プロフェッショナル」という言葉から、何を思い浮かべますか?

- アマチュア.....読者モデル
プロフェッショナル.....専属モデル (3組・溝邊彩音)
- アマチュアはその仕事が副業、プロフェッショナルはそれが本業 (5組・望月直斗)
- アマチュアは自分のためにやっているが、プロフェッショナルは他人のためにやっている (7組・水上亜利紗)

あなただったら「プロ」をどう定義しますか?

- 「失敗を恐れない人」—自ら壁に立ち向かい、失敗を恐れることなく努力する人こそがプロだと思ったから。 (1組・森川幸代)
- 「継続して周囲の求めに応えられる人」—プロはファンやスポンサーがいないと成り立たないから。 (6組・風間大地)
- 「お金を出してでも「見たい・聞きたい・食べたい」と言ってくれるお客さんがいる人」 (8組・遠藤亮)

全体の感想

- 好きなことをやるのは簡単だけど、それでお金を稼いで暮らしていくことは難しい。だから、好きなことを「仕事」にしている布施さんはとても勇気があると思いました。 (2組・村田彩乃)
- 特に印象に残っているのは布施さんがおっしゃっていた「次につなげていく」ことです。どんな分野の職業にも共通することで、仕事の能力や取り組む姿勢が反映されるのだと思いました。今は将来のことについて考えることが多い時期なので、プロとして活躍している方の話はとても良い勉強になりました。 (4組・島谷克樹)
- 4組がエア縄跳びをやってみせてくれたのを見て、本当に縄があるような感じがしたし、透明な縄がぐるぐる回っているような気がして、演技とか想像力がすごいなと思いました。 (9組・梅畑光之介)

スポーツ大会②

1月25日にアリーナで行われたスポーツ大会の種目は、バレーボール・バスケットボール・綱引き・大縄跳びでした。総合優勝は5組、準優勝は3組、3位は1組でした!



高校3学年だより

先生から卒業生へメッセージ

卒業にあたって『報恩感謝』

高校3学年主任 細田 功

428名の諸君、卒業おめでとう。高輪台高校で過ごした3年間(中入生は6年間)で、楽しかったことつらかったこと、語り尽くせぬほどのたくさんの出来事があったことと思います。時には困難から逃げ出したくなったり、くじけそうになった時もあったのではないのでしょうか。そんな時、君たちの周りには温かく見守ってくれる家族や仲間がいてくれたことと思います。こうして卒業の時を迎えることができたのも、君たちの努力はもちろん、家族や仲間など多くの人たちの支えがあったからだと思います。そうした多くの人たちへの感謝の念を忘れることなく、夢に向かって大きく前進して行ってください。君たちが夢に向かって努力することが、今まで支えてきてくれた人たちへの恩に報いることだと思います。希望に満ちた大空へ、羽ばたく卒業生428名に幸多かれと祈ります。卒業おめでとう!

1組学級担任

今井 貴志

卒業おめでとう! もう未来は君たちのものです。その未来を曇らせることなく、輝かせる大人になるよう心から応援しています。君たちの支える日本が楽しみです。

2組学級担任

妻沼 省吾

「人にやさしく、自分に厳しく」でどんな時でも他人のことを考えられる大人になってください。卒業おめでとう!!

3組学級担任

加藤 新也

卒業おめでとう。東海大学付属高輪台高校で学んだ3年間の思い出や経験を今後の生活に役立ててください。これからの時代を切り拓いていくのは君たちです。しっかりと前を向いて、充実した人生を歩んで行ってください。

4組学級担任

渡邊 聡

どんなときでも誠実さを持って誰に対しても接することのできる、心に余裕のある大人になってください。

5組学級担任

橋 健治

高輪台高校での思い出を胸に、未来に向かって進んでいきましょう。各自の「良いところ」を生かしてさまざまな分野で活躍してくれることを楽しみにしています。

6組学級担任

橋本 智孝

マザー・テレサは「神様は私たちに、成功してほしいなんて思っていません。ただ、挑戦することを望んでいるだけ」と言っています。これから先も挑戦と努力を惜しまず素晴らしい人生を送ってください。最高の人生を期待しています。

7組学級担任

數馬 大介

作家の高橋克彦さんが「どんなものでもいまの世の中は十年その願望を持ち続ければ、必ず成就する」と言っています。「十年の力」を信じ、すべきことをし、夢を叶えてほしいです。

8組学級担任

田村 英典

自分ではどうにもならないことも、仲間とならば何とかできるはず。「何とかなる」ではなく「何とかする」気持ちで何事にも挑戦してください。これからの活躍も期待しています。卒業おめでとう。

9組学級担任

鈴木 康恵

3年間みんなのことを見続けてきました。この学年のみんなは素直で、やる時はやる! という雰囲気をもっていて、しかも友達思いで…本当に好きです。さらにみんなの良さが伸びて、希望ある将来を自分で見つけ、実現してほしいと思います。

学年所属

東出 葉月

これからはそれぞれの夢に向かって具体的に力を蓄えていける時期です。前向きにコツコツと努力を重ね、夢の実現に向けて頑張ってください。これからも陰ながら応援しています! 卒業おめでとう☆

学年所属

畠田 貴生

卒業おめでとう!! 「自分に自信 友に信頼 人に感謝」人間関係を大切に!! 頑張ってください!!

学年所属

高田 羽純

目の前の欲望に左右されるのではなく、常に自分の信念を持ち続けられる、一人前の人間になってください。その力は持っています。皆さんのことを、いつまでも応援しています。

学年所属

山口 恵美子

卒業おめでとうございます。充実した高校生活は送れたでしょうか。

わずかでしたが、皆さんと共に過ごしてきた時間は、私にとってかけがえのない時間です。今後は楽な方には進まず、あえて困難な道を選び、それを乗り越える強い人間になってください。

学年所属

阿部 恵子

人懐っこく可愛かったみんな、卒業おめでとう! これからは各々の道で、他力に頼らず自力で頑張らなければならないですね。壁にぶつかった時に、体当たりできる強い勇気を持つ人であってください。ずっと応援しています。

学年所属

渡部 晃

ご卒業おめでとうございます。高輪台高校の3年間で学んだ多くの経験を生かして、それぞれの夢の実現に向けて、新しいフィールドで活躍してください。3年間の楽しい時間をありがとうございました。

SSH活動報告

1月27日(月)に、本校高校2年生3名、3年生4名がロシアのガスプロムの生徒とスカイプを利用して研究発表会を行いました。「エコロジー」をテーマに、互いの研究の成果を英語で発表し、意見交換を行うことができました。

1月30日(木)に、高校3年生SSHクラスの生徒が高輪台小学校の生徒にサイエンスコミュニケーターを行いました。高校生が小学生に理科の実験と授業を行うことで、小学生の理科への興味・関心を高めることができました。

海を越えた発表会

中村 奎斗

2年9組 板橋区立加賀中学校出身

現在高校2年生のSSHは、自分たちの興味を持つテーマについて実験し、発表するという試みをしています。そして、今回私たちの班はその実験成果を海の向こう側のロシアのガスプロムの生徒たちに、スカイプを使って英語でプレゼンテーションをしました。英語でプレゼンテーションをするということは、発表に使うパワーポイントも、自分たちが発表する内容も、全て英語で作らなければなりません。私たちの班は、小松原先生をはじめとするさまざまな先生のアドバイスや指導を参考にして、何回も発表内容やパワーポイントを作り直しました。また、英語の発音なども、ネイティブの先生方に指導してもらいました。発表している時は、画面越しからでもわかるガスプロムの生徒たちの視線を受けていたので、緊張はかなりありました。発表を終えた時は、とても達成感があり、班員のみならず発表の成功を喜びました。今後も実験を続けていき、このような発表の場を大切にしていきたいと思っています。



研究発表会に参加したメンバー

SSH活動を終えて

岩崎 和樹

3年9組 大田区立大森第七中学校出身

私が課題実験・課題研究で一番大変だったのは、英語での外部発表のときに、実験内容を日本語から英語に変換することでした。日本語を英語に直訳すると意味が変わってしまい、非常に苦労しました。立命館大学で行われたJSSFという発表直前には、夜10時まで残って最終確認をしました。英語の先生やネイティブの方々に助けってもらって、英語での口頭発表、ポスター発表を行うことができました。

私たちは1月27日にロシアのガスプロムの学生に、スカイプを通じて英語で発表しました。練習を始めた時は、原稿を覚えられなかったり、前を向いて話せなかったりして、非常に苦労しました。しかし、一生懸命練習していくうちにだんだんと上手くなっていきました。そして発表当日は、電波が途切れて上手くコミュニケーションがとれない場面がありましたが、落ち着いて発表することができました。

私は、3年間のSSH活動で学んだことを、今後の大学生活に生かしていきたいと思っています。



ガスプロムの生徒の様子

サイエンスコミュニケーターを終えて

勝又 光暁

3年9組 大田区立大森第八中学校出身

高校生活最後の授業「サイエンスコミュニケーター」でとても良い思い出を作ることができました。小学生に理科を楽しんでもらえるように授業を考えるのはとても難しく、どのように教えるかとても悩みました。私たちは1か月以上前からどんな授業をするか考えます。先生側になって授業をするのはとても大変で、どんなに自分が理解していても相手には理解してもらえません。簡単にわかりやすくしなければ相手は聞いてくれないことや、身近にある現象をうまく使って授業をするとわかってもらえることを学びました。本番に向けての練習において、どうしたら面白いと感じてもらえるか、小学生にわかりやすく伝えることができるかを友達と考えるのは大変でした。しかし、実験や授業の流れがうまくいったときは、一体感が出てとてもうれしく思いました。本番当日は緊張していましたが、授業をしている時はワクワクしていてとても楽しかったです。授業を終えた私は達成感でいっぱいでした。私たちは当たり前のように授業を受けていますが、先生がどれだけ大変なのかわかり、教えることの難しさを実感するとてもいい経験になりました。



洗剤の不思議を体験

TOKAI キャンパスメッセージ

歴史の謎を解く名探偵への道

東海大学文学部歴史学科日本史専攻 三田 武繁

皆さんの中には、ホームズやポワロ、あるいは江戸川コナンといった名探偵が活躍するミステリーが好きな方がいらっしゃると思いますが(私もその一人です)、よく考えてみると、名探偵が行う推理も、歴史学の研究も、過去の事実を明らかにするという共通の目的を持っています。ただ、探偵は、①事件の痕跡や遺留物、②当事者や周囲の証言、など、ありとあらゆるものを手がかりに事件の真相を解き明かしてくれますが、日本史の研究では②の証言が主な手がかりになります(①は考古学の研究対象です)。とはいつても、直接、過去の人々に証言を求めるのはほぼ不可能ですから、実際の日本史の研究では、過去の人々が書き記した史料を読解・分析することによって歴史事象の真相に迫ります。

ところで、大学における日本史の学習

というと、高校の教科書にも記述されていないような細かいことまで教えてもらう、といった印象を持つ方が多いのではないのでしょうか。確かにそうした部分もありますが、大学における日本史学習の中心は教えてもらうことではありません。東海大学の日本史専攻では、歴史事象の真相やその意義の解明に学生自身が主体的に取り組み、論理的な思考によって得られた独自の成果を的確な文章で表現する、ということ、つまり、ミステリーでいえば、鑑賞者ではなく、主役の名探



卒論合宿

偵として事件を解決し、説明する行為を重視しています。4年次に作成する卒業論文はそうした営みの集大成です。その成果が豊かなものになるよう、1年次より、史料の読解・分析能力や思考能力、表現能力を段階的に向上させるためのカリキュラムを用意していますし、古代から近現代までの各時代に精通した教員が丁寧な指導を行っています。

皆さんも、日本史専攻で学び、歴史の謎を解き明かす名探偵を目指してみませんか。



卒業式

日本史専攻で歴史を学ぶ

東海大学文学部歴史学科日本史専攻1年(高輪台高校2013年3月卒業) 田島 修平

東海大学文学部歴史学科日本史専攻における学習の基本は、日本史上の人物の実像や、さまざまな事件や制度などの真相とその意義について、知識を深めるだけでなく、実際に史料を読み解くことを通して、明らかにしていくことにあります。

1年次は、まず日本史の大まかな流れをつかむ「日本史概説」や、日本史の研究方法を学ぶ「日本史研究入門」、史料読解の基礎力を身につける「日本史基礎講読(漢文)」などで、2年次以降の学習をスムーズに行うための基礎を固めます。「東洋史概説」や「西洋史概説」などで、他の地域の歴史を幅広く学び、歴史に対して柔軟な考えを持つこともできます。また、日本史専攻でまとまって行う授業が多いので、自然と友人が増え、勉強の時は助け合い、プライ

ベートでも遊びに行ったりする良い人間関係を築くことができ、専攻の雰囲気もとても良いです。

2年次以降は、専門的な内容の講義科目や史料読解を中心とした演習科目を履修し、3年次後半から卒業論文作成のための授業を履修しますが、古代・中世・近世・近現代、とそれぞれが興味や関心のある時代を選ぶことができますので、意欲的に学習に取り組むことができます。また、必要に応じて先生方が学習のサポートをしてくれるのでとて

も心強いです。

私は軟式野球部に所属し、まったく違う学部・学科の人や先輩と野球をして、とても楽しく活動しています。趣味に打ち込める時間もあるので、サークル活動を行えば、幅広い友人関係を築いていくこともできると思います。

歴史を学び、大学時代の経験を卒業後の人生に生かしたいと思っている方は、ぜひ歴史学科日本史専攻の『学科案内』に目を通したり、学科説明会に足を運んでみたりしてください。



新入生研修会(履修計画作成中)



新入生研修会(昼食時の一コマ)

お知らせ

付属高校生のための東海大学オープンキャンパス(湘南)

●日時:2014年3月15日(土)(高校1年) ●場所:東海大学湘南キャンパス

付属高校生のためのオープンキャンパスが開催されます。当日は希望する学部を2つ選んで説明会に参加でき、付属高校出身者の先輩方の話を聞けるチャンスでもあります。大学生活をイメージする材料にしてほしいと思います。高校1年生にとって未来の自分について考える貴重な機会です。説明会に真剣に臨み、進路決定をするための参考にしてほしいと思います。

建学祭収益金を「私学ボランティア基金」に寄付

平成25年度第49回建学祭の収益金のうち、各団体の収益金の一部114,250円と後援会バザーからの収益金120,000円の合計234,250円を「私学ボランティア基金」に寄付いたしました。

「私学ボランティア基金」とは、昭和60年に発足したもので、これまでに地震や風水害等を受けた私立中学校・高等学校を対象に見舞金贈呈などの活動を行っている団体です。昨年度は東日本大震災に際して2億円を超える義援金が寄せられ、今年度は被災生徒に対しても厚く見舞金を贈呈するという趣旨に賛同いたしました。少しでも援助になればということで、寄付いたしました。

行事予定

March 3月

April 4月

- 2日(日) 中等部第5回・高校第65回卒業証書授与式
- 3日(月) 振替休日(生徒休業日)
- 6日(木) 高校後期期末試験(～11日)
- 7日(金) 中等部後期期末試験(～11日)
- 8日(土) 新1年制服採寸・教材販売(高校延納)
- 12日(水) 生徒自宅学習日
- 13日(木) 答案返却日 教科書販売(新中3、新高3)
- 14日(金) 生徒自宅学習日
- 15日(土) 付属高校生のための東海大学オープンキャンパス(高1)
- 17日(月) 生徒自宅学習日
- 18日(火) 修了式・離任式 教科書販売(新中2、新高2)
- 21日(金) 春分の日
- 22日(土) 新1年クラス分け試験
- 24日(月) 中等部希望者講習(～28日)
高校基礎力判定テスト結果補習(～28日)
- 29日(土) 後援会委員総会

- 2日(水) 新入生登校日(中1、高1 13時00分)
- 3日(木) 中等部第8回入学式(10時00分)
高校第71回入学式(10時00分)
- 4日(金) 中1、高1:オリエンテーション、健康診断・写真撮影
- 5日(土) 前期始業式 対面式・就任式
- 7日(月) オリエンテーション合宿(中1、三保研修館～9日)
オリエンテーション(高1、2日目)
健康診断・写真撮影(中2、高2) 授業開始(中3、高3)
特別時間割期間(～9日)
- 8日(火) オリエンテーション(高1、3日目)
健康診断・写真撮影(中3、高3) 授業開始(中2、高2)
- 9日(水) オリエンテーション(高1、4日目) 特別時間割期間終了
- 10日(木) 平常授業開始(中等部、高校)
- 11日(金) 外部実力試験(中等部) 学園基礎学力定着度試験(高校)
- 12日(土) 短縮授業 保護者会(中1、高1 14:30～16:30)
- 15日(火) 校医相談日
- 17日(木) 学年集会(中3、高3)
- 19日(土) 短縮授業 保護者会(中2、中3、高2、高3 14:30～16:30)
- 22日(火) 新入生仮入部期間終了
- 24日(木) 学年集会(中2、高2)
- 29日(火) 昭和の日

高校3年特別講座



東京証券取引所



大和証券グループ本社



JICA



JAL整備工場見学

編集後記

この冬も寒さが身に染みた。思い起こせば40数年前、小学生だった私は冬でも半ズボンで走り回っていて、冬はもちろんのこと暑い夏でも長ズボンを履く大人を好奇の目で見ていた。それが、今ではマフラーと手袋、それにマスクの重装備で通勤するに至る。周りを見渡せば今時の小学生はダウンジャケットまで着込んでいる。空調が整った環境の中で育つ彼らは私よりも寒がり、暑がりに違いない。彼らが大人になったらどんな格好で通勤するのか興味津々である。そして、春の訪れとともに今度は花粉との闘いである。人間はこのままで大丈夫なのだろうか。(き)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>